



2021

ANNUAL REPORT

| 事業編 |

アニュアルレポート 2021 年 3 月期

コーポレートメッセージ

innovative spirit

「innovative spirit」は当社の想いを強く宣言する言葉です。
すべてのはじまりは「innovative spirit」、これまでの歴史が生んだ数々の革新的技術、
創造へ挑戦し続ける精神が私たちの原動力です。

コーポレートスローガン

お客様に感動を!

FUJI グループは
時代の一步先を見据え、常に新しい価値を創造し、
お客様に驚きと感動を与えられる製品・サービスを提供することで、
世界中の「もっと」に応えます。

成長戦略

FUJI robots lead the way

ロボットで未来を拓く FUJI

FUJI グループは
独創的な製品をタイムリーに市場に提供し続けるとともに、
ロボット技術を軸に時代を捉え変革にチャレンジすることでものづくりを極め、
ロボットメーカーとして躍進していきます。

企業価値の向上と持続的成長の実現に向け一層努めてまいります

2021年3月期（2020年4月1日から2021年3月31日）のアニユアルレポートの発行に際し、ご挨拶申し上げます。

世界的な新型コロナウイルス感染症の広がりにより、お亡くなりになった方々、ご家族や関係者の皆様に謹んでお悔やみ申し上げますとともに、感染された方々や生活に影響を受けている方々に、心よりお見舞い申し上げます。また、感染の拡大防止に尽力されている医療関係の皆様をはじめ、人々の生命や暮らしを守るために働かれている多くの方々に深く感謝するとともに、心より敬意を表します。

株式会社FUJIは1959年に工作機械メーカーとしての創業以来、電子部品挿入ロボット・実装ロボットを世に送り出し、業容を拡大してまいりました。さらに近年では、これまでに培ってきたロボット技術をベースに、半導体製造装置、多関節ロボット、そして医療・介護・物流など新たなフィールドにも積極的に取り組み、お客様や社会の課題を解決してまいりました。それらを広く共有することにより社会全体で発展・成長していくことが、あらゆるステークホルダーの皆様や社会に対する責任であると考えています。

昨今、ICTや5Gといったデジタル技術が急速に進展するなかで、新型コロナウイルス感染症の拡大は、「テレワーク」など、私たちの生活スタイルや企業を取り巻く事業環境の変化を一気に加速させました。さらに、地球温暖化の深刻化や災害の頻発など、地球規模の問題も多く抱え、私たちは今、大きな変革の時を迎えています。こうした背景を踏まえ、当社は2021年を初年度とする[「2021～2023年度 中期経営計画」](#)を策定いたしました。本計画では、DXの活用やSDGsを意識した事業展開を軸に各種製品の一層の市場浸透を図ることを基本方針とし、社会課題の解決はもちろん、

想像を超える未来に貢献するとともに、経営基盤強化としてCSRやESGなどに真摯に取り組み、企業価値の向上と持続的成長の実現に向け一層努めてまいります。

今後とも、皆様のご支援をよろしくお願い申し上げます。

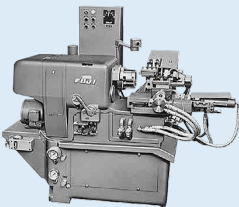


代表取締役社長 須原 信介

1959 年

わずか 170 m²の作業場からの船出

1959 年 4 月 7 日、創業者・坂上守は同志 13 名とともに、自らが理想とする工作機械を世に送り出すために富士機械製造株式会社を設立。自社ブランド 1 号機である FS 型単能機は、その類を見ない高生産性から、一躍業界の寵児となりました。



1950

1971 年

事業基盤強化に向けた
新分野へのチャレンジ

景気変動にも耐えうる経営基盤を作りあげるため、工作機械で培ったノウハウを活かしてさまざまな自動組立機の開発に積極的に取り組みました。そこで積み上げた技術が、のちの電子部品自動組立機の開発へと繋がりました。

1978 年



電子部品自動組立機市場に
本格的に参入

トランジスタラジオ、テレビ、電卓などの電化製品にさまざまな電子部品が使用されるなか、1 台で多様なリード線付電子部品をプリント基板に連続挿入できる、世界初の電子部品自動挿入機「BA」を開発しました。

2003 年



電子部品実装の新コンセプト！
NXT シリーズの登場

完全モジュール構造による自由なマシンレイアウトを可能にした、モジュール型高速多機能装着機「NXT」をリリース。現在まで進化を重ね、シリーズ累計 10 万台以上の出荷を誇る、FUJI の歴史を象徴する名機が誕生しました。

2000

2012 年



国内で培った
ものづくり力を海外にも展開

中国江蘇省昆山市に、当グループ初の海外生産拠点となる昆山之富士機械製造有限公司を設立。当社製品最大の消費地である中国市場に向けて、主にクリームはんだ印刷機と NC 自動旋盤の生産・販売を行っています。

2016 年

新たなビジネスモデルの確立へ

工作機械、電子部品実装ロボットに続く第 3 の事業の柱を求めて常に開発を続けている FUJI。既存技術を活用し、パブリックストックシステム「Quist」、移乗サポートロボット「Hug」をリリースしました。



2018 年

新たな企業価値の創出へ

創立 60 周年を機に、「株式会社 FUJI」へ社名変更。また半導体製造装置メーカーであるファスフォードテクノロジー株式会社を子会社化しました。電子部品実装技術と半導体後工程技術を融合させ、新たな事業領域の創出を目指します。

2019 年

FUJI Smart Factory Platform
「NXTR」市場投入

生産ラインの無人化を目指し、世界初の自動部品補給システムを搭載したハイエンドモデル「NXTR」を市場投入しました。



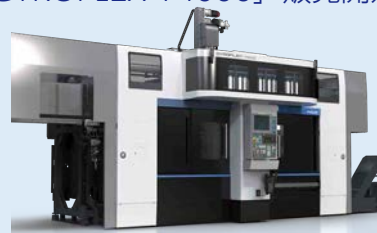
2020

2021 年

複合加工機

「GYROFLEX T4000」販売開始

FUJI の製品ラインアップに複合加工機が加わりました。これまで培ってきた自動化技術をベースに、変種変量生産に向けた新たなソリューションを提供いたします。



数字で分かるF U J I



売上高

(2021 年 3 月期)

1,362 億円



従業員数

(2021 年 3 月末時点)

2,522 名



時価総額

(2021 年 3 月末時点)

2,734 億円



自己資本比率

(2021 年 3 月末時点)

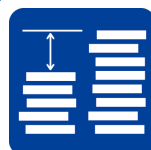
87%



海外売上高比率

(2021 年 3 月期)

90%



ROE

(2021 年 3 月期)

9.5%



売上高研究開発
投資比率

(2021 年 3 月期)

7%



有休取得率

(2021 年 3 月期)
※単体ベース

78%

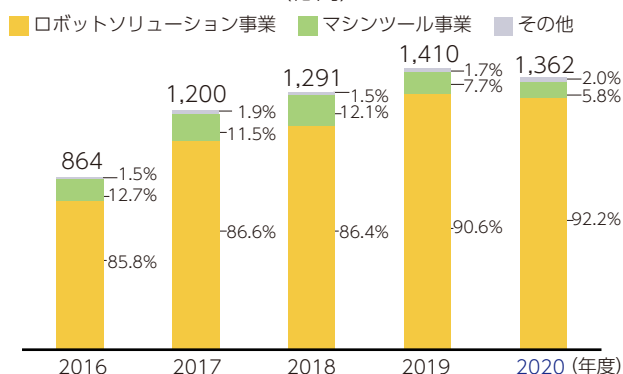


産休・育休
復帰率

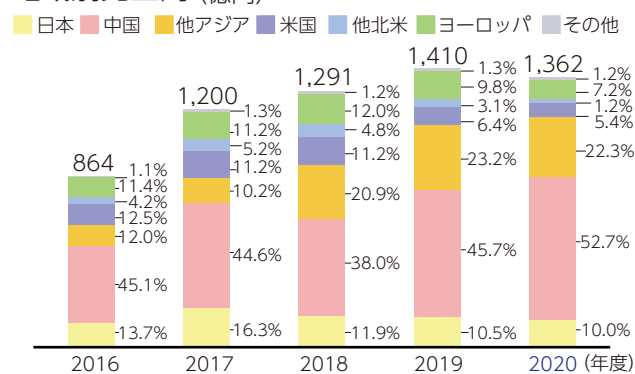
(2021 年 3 月期)
※単体ベース

95%

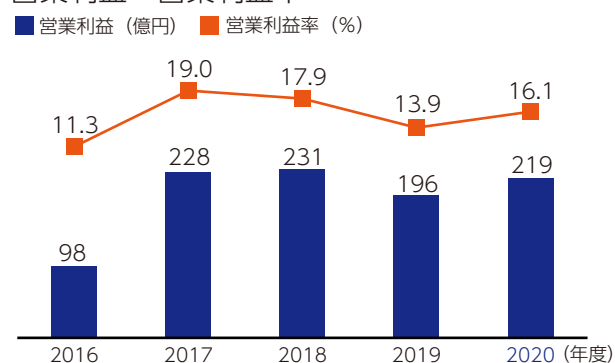
セグメント別売上高 (億円)



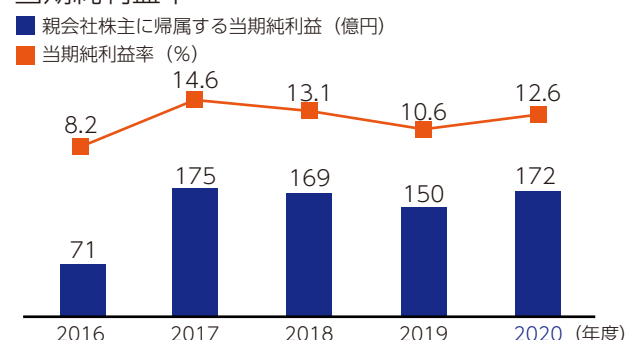
地域別売上高 (億円)



営業利益・営業利益率



親会社株主に帰属する当期純利益 当期純利益率



マネジメント体制



代表取締役会長
曾我 信之
代表

1975年 当社入社
2007年 取締役 執行役員
秘書室室長
人事部部長
2008年 取締役 常務執行役員
2009年 代表取締役社長
2019年 代表取締役会長（現任）



代表取締役社長
須原 信介
代表

1981年 当社入社
2008年 執行役員 ハイテック事業本部副本部長
第一技術統括部部長
2010年 取締役 執行役員
2012年 取締役 常務執行役員
2013年 取締役 常務執行役員 ハイテック事業本部部長
2015年 取締役 専務執行役員 ハイテック事業本部部長
2018年 取締役 副社長執行役員
ロボットソリューション事業本部部長
2019年 代表取締役社長
ロボットソリューション事業本部部長
2020年 代表取締役社長（現任）



取締役
常務執行役員
江崎 一

2003年 当社入社
2011年 執行役員 経営企画室室長
2015年 取締役 執行役員 市場戦略部部長
2018年 取締役 執行役員
工作機械事業本部副本部長 営業部部長
2019年 取締役 常務執行役員
マシンツール事業本部副本部長 営業部部長
2020年 取締役 常務執行役員（現任）
マシンツール事業本部部長（現任）
営業部部長（現任）
主要な兼職 フジマシン アメリカ コーポレイション 会長
昆山之富士機械製造有限公司 董事長



取締役
常務執行役員
杉浦 昌明

1986年 当社入社
2015年 執行役員 ハイテック事業本部第一営業部部長
2018年 取締役 執行役員
ロボットソリューション事業本部副本部長
第一営業部部長
2020年 取締役 常務執行役員（現任）
ロボットソリューション事業本部部長（現任）
主要な兼職 富社（上海）商貿有限公司 董事長
フジインディア コーポレイション プライベート リミテッド 会長



取締役
執行役員
加納 淳一

1987年 当社入社
2017年 執行役員 秘書部部長
2020年 取締役 執行役員（現任）
経営管理部部長（現任）
経理部部長（現任）



社外取締役
川合 伸子
社外 独立

1992年 弁護士登録
西村眞田法律事務所入所
1998年 川合伸子法律事務所設立（代表者）（現任）
2002年 公益財団法人交通事故紛争処理センター嘱託（現任）
2009年 愛知県弁護士会 副会長
2012年 国立大学法人名古屋大学 大学院法学研究科教授
2015年 当社社外取締役（現任）
2017年 イビデン株式会社 社外取締役
主要な兼職 川合伸子法律事務所 代表者



社外取締役
玉田 秀彰
社外 独立

1970年 三洋電機株式会社入社
1995年 SANYO ENERGY EUROPE 社長
2006年 SANYO EUROPE 社長
2011年 TONG SAN ELECTRIC CO. LTD 顧問
2019年 当社社外取締役（現任）



社外取締役
水野 象司
社外 独立

1977年 丸文株式会社入社
2005年 丸文セミコン株式会社 代表取締役社長
2013年 丸文株式会社 代表取締役社長
2020年 丸文株式会社 取締役相談役
当社社外取締役（現任）
2021年 ミカサ商事株式会社 社外取締役（現任）
主要な兼職 ミカサ商事株式会社 社外取締役



常勤監査役
畔柳 泰明

1989年 当社入社
2007年 ハイテック事業本部事業企画室室長
2010年 ハイテック事業本部生産管理部部長
2011年 株式会社エデックリンセイシステム 取締役
2013年 ハイテック事業本部企画部部長
2015年 監査部部長
2018年 常勤監査役（現任）



社外監査役
松田 茂樹
社外 独立

1986年 監査法人丸の内会計事務所
（現 有限責任監査法人 トーマツ）入所
1990年 公認会計士登録
1993年 税理士登録
1994年 松田公認会計士事務所設立（代表者）（現任）
2004年 税理士法人あいき設立（代表者）（現任）
2012年 国立大学法人名古屋工業大学 監事
2013年 当社社外監査役（現任）
2015年 ローランド ディー・ジー・株式会社 社外監査役（現任）
主要な兼職 松田公認会計士事務所 代表者
税理士法人あいき 代表者
ローランド ディー・ジー・株式会社 社外監査役

マネジメント体制



1992年 中央新光監査法人入所
1996年 公認会計士登録
1997年 公認会計士三宅事務所入所
2006年 山下公認会計士事務所設立（代表者）（現任）
2008年 税理士登録
2015年 当社社外監査役（現任）
株式会社ソトー 社外監査役（現任）

主要な兼職 山下公認会計士事務所 代表者
株式会社ソトー 社外監査役

社外監査役
山下 佳代子
社外 独立



1983年 当社入社
2008年 ハイテック事業本部機械技術部部长
2012年 ハイテック事業本部開発評価部部长
2015年 執行役員 岡崎工場長
ハイテック事業本部生産管理部部长
2018年 上席執行役員 岡崎工場長
ロボットソリューション事業本部第二生産部部长
2020年 上席執行役員 ロボットソリューション事業本部副本部長
岡崎工場長 検査部部长
2021年 上席執行役員（現任）
ロボットソリューション事業本部副本部長（現任）
第二機械技術部部长（現任）

主要な兼職 FUJILIRIA株式会社 代表取締役社長

上席執行役員
勝見 裕司



1986年 当社入社
2009年 人事部部长
秘書室室長
2010年 ハイテック事業本部事業企画室室長
2013年 秘書部部长
2015年 秘書部部长
人事部部长
2017年 総務部部长
2018年 執行役員（現任）
総務部部长（現任）

執行役員
鈴木 隆紀



2016年 当社入社
2017年 情報システム部部长
2020年 執行役員
ロボットソリューション事業本部 営業技術部部长
2021年 執行役員（現任）
岡崎工場長（現任）
ロボットソリューション事業本部生産管理部部长（現任）

執行役員
村上 浩



1985年 当社入社
2009年 工作機械事業本部品質保証部部长
2010年 工作機械事業本部事業企画室室長
2012年 工作機械事業本部生産管理部部长
2014年 執行役員 工作機械事業本部生産管理部部长
2015年 執行役員 工作機械事業本部副本部長
生産管理部部长
2020年 執行役員 マシンツール事業本部副本部長
生産管理部部长 生産部部长
2021年 執行役員（現任）
マシンツール事業本部副本部長（現任）
生産管理部部长（現任）

執行役員
酒井 一俊



1989年 当社入社
2013年 調達本部第一調達部部长
2016年 ロボットソリューション事業本部生産管理部部长
2021年 執行役員（現任）
調達本部副本部長（現任）

執行役員
鈴木 隆司



1990年 当社入社
2016年 ロボットソリューション事業本部機械技術部部长
2017年 ロボットソリューション事業本部第二機械技術部部长
2021年 執行役員（現任）
マシンツール事業本部技術部部长（現任）

執行役員
岡田 健人



1993年 当社入社
2017年 ロボットソリューション事業本部第二営業部部长
2020年 ロボットソリューション事業本部第三営業部部长
2021年 執行役員（現任）
ロボットソリューション事業本部第三営業部部长（現任）

主要な兼職 フジアメリカ コーポレーション 会長
フジョーロッパコーポレーション ゲームバー 会長

執行役員
浅岡 鉄哉



1996年 当社入社
2014年 開発センター事業開発部部长
2017年 フジ アメリカ コーポレーション 出向
2021年 執行役員（現任）
ロボットソリューション事業本部技術開発部部长（現任）
イノベーション推進部部长（現任）

執行役員
五十棲 丈二



取締役 常務執行役員
ロボットソリューション事業本部
本部長

杉浦 昌明

電子部品実装ロボット業界のフロントランナーとして お客様に感動を与えるソリューションを提供してまいります

2021年3月期は、不安要因であった新型コロナウイルスの感染拡大がテレワークなど新たなライフスタイルの定着をもたらし、パソコンやサーバー、さらにはこれら電子機器の製造に欠かせない電子部品生産用の設備需要が大幅に増加しました。また、当社の主力市場であるスマートフォンをはじめとした通信機器関連も引き続き底堅く推移し、セグメント売上高は過去最高を記録した2020年3月期には及ばなかったものの、1,256億円（前年同期比1.7%減）と公表予想値を上回る結果となりました。セグメント営業利益につきましては販売価格の回復やコスト削減の取り組みなどにより、過去最高となる263億円（前年同期比12.6%増）となりました。

今後につきましては、引き続き良好な市場環境のもと事業基盤をさらに強固なものにするために、DXの活用による販売・開発・生産の効率追求、ハイエンドモデル「NXTR」の市場浸透、ファスフォードテクノロジー社とのシナジーを創出する製品開発、電子部品実装ロボット以外の製品拡販など、さまざまな施策を講じ、お客様に感動をご提供できる事業展開を推進してまいります。

2021年3月期市場環境・実績

- テレワークなどの定着により、中国・アジア地域ではパソコン・サーバー向け設備需要が増加
- 欧米市場は自動車関連の設備投資が軟調に推移
- NXTシリーズ 出荷累計10万台達成

製品の特長／強み

電子部品実装ロボット

NXTR



NXTシリーズのモジュールコンセプトを踏襲しつつ、「実装不良ゼロ」・「オペレーターゼロ」・「機械停止ゼロ」の「3つのゼロ」を実現するハイエンドモデルです。

電子部品実装ロボットとは？

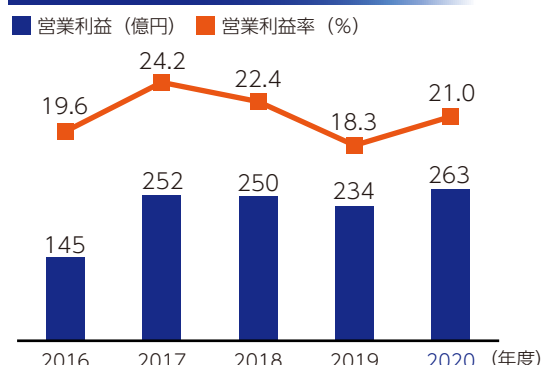
自動車や家電製品、通信端末など、私たちの暮らしはさまざまな電子製品に囲まれています。これらの電子製品の要となるプリント基板に、大きさや形状の異なる電子部品を装着する装置が電子部品実装ロボットです。FUJIでは業界No.1の面積生産性を誇るNXTシリーズを中心とした高速・高精度な機種を多数揃えています。



売上高・受注高（億円）



営業利益・営業利益率





取締役 常務執行役員
マシンツール事業本部本部長

江崎 一

業績回復に向け、販売網の強化・DXの活用・新製品の拡販などを推し進めます

2021年3月期は、長引く米中貿易摩擦や新型コロナウイルスの感染拡大の影響により国内外ともに設備投資需要が低調に推移した結果、セグメント売上高は79億円（前年同期比27.4%減）、セグメント営業損益は13億円の損失と、いずれも低調な結果となりました。

今後に目を向けますと、長らく停滞していた市場環境が昨年末頃から回復してきたことは明るい材料です。市場回復の波に乗り遅れることがないように、グループ会社同士の連携強化や商社活用の加速による販売網の強化、デジタルツールの活用による販路・市場の拡大などに取り組んでまいります。

今年販売を開始した新製品「GYROFLEX」は、工程集約・生産変動への対応力の需要の高まりに応えることができる複合加工機です。「GYROFLEX」が製品ラインアップに加わったことにより、大量生産から変種変量生産まで、幅広いニーズに対応できる体制が整いました。FUJIの強みであるロボット技術、チャック内製技術を活かし、より高い品質とサポートでお客様に最適なソリューションを提供できる体制を構築してまいります。

2021年3月期市場環境・実績

- 自動車関連を中心に国内外ともに設備投資が低調に推移
- 複合加工機「GYROFLEX」発表

製品の特長／強み

複合加工機

GYROFLEX T4000



変種変量生産に対応する工程集約機です。一台で効率的かつ高精度に加工でき、省スペースに貢献します。搬送ロボットが標準搭載され、自動ワーク着脱・無人運転が可能です。

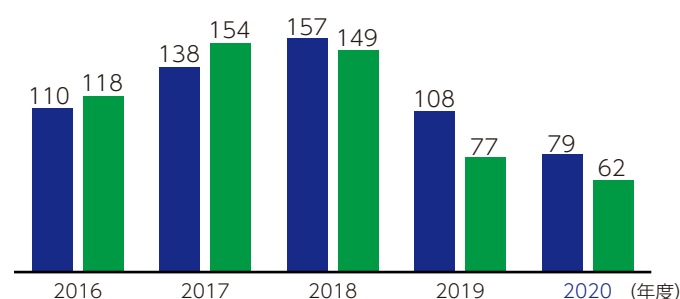
工作機械とは？

自動車や産業用機械などを構成する高精度な加工部品。これらを作り出すために、金属素材を切削・加工する役割を担うのが「マザーマシン」とも呼ばれる工作機械です。FUJIでは、主に自動車業界向けのNC旋盤を中心とした工作機械を多彩にラインアップしています。



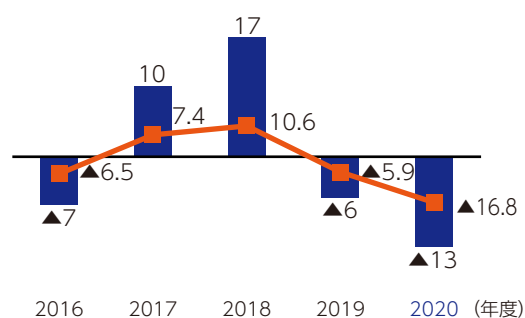
売上高・受注高(億円)

■ 売上高 ■ 受注高



営業利益・営業利益率

■ 営業利益 (億円) ■ 営業利益率 (%)





開発センター長
藤田 政利

未来に向けた新たな技術開拓に邁進してまいります

ビジネスのスタイルが急速に変化していくなか、新型コロナウイルスによる危機を機会と捉え、FUJI がロボットカンパニーとして成長し続けるためには、最先端の要素技術による既存事業の強化に加え、新たなビジネスモデルの創出に向けた新規技術の開発が重要です。

2021年3月期においては移乗サポートロボット「Hug」が「第9回ロボット大賞」にて厚生労働大臣賞を受賞し、シリーズ出荷累計 1,300 台を突破しました。また、パブリックストックシステム「Quist」が大手小売店に採用されるなど、確実にその成果が出始めております。

さらに今後は、これまで試作モデルで受託製造サービスを行ってきたエレクトロニクス 3D プリンター「FPM-Trinity」では、そこで得たニーズを取り入れた外販モデルの開発、朝日インテック株式会社様と共同で開発中のエコーガイドシステムの現場実証、ロボットシステムインテグレータの業務を支援するプラットフォーム「e-Sys」のマーケットの拡充によるサービスの展開などを進めてまいります。

これからの DX 時代を見据え、ロボティクス・AI・IoT などのテクノロジーを活用し、サステナブルな価値提供と社会課題を解決する新規事業の創出に取り組んでまいります。

移乗サポートロボット

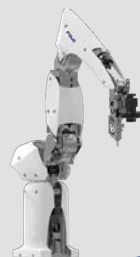


THE ROBOT AWARD
第9回ロボット大賞
厚生労働大臣賞 受賞

Hug

介護現場においてベッドから車椅子、車椅子からお手洗いといった座位間の移乗動作や、脱衣所での立位保持をサポートするロボット。FUJI の先進技術と思いやりが、介護のスタイルを大きく変えます。

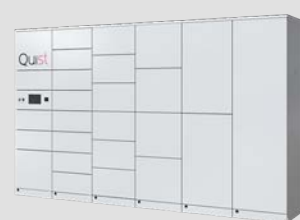
小型多関節ロボット



Smart Wing

座標補正技術とビジョンデータの活用で、従来のロボットで必要だった現物あわせでのティーチングが不要となり、立ち上げに要する時間を大幅に短縮します。

パブリックストックシステム



Quist

IoT を駆使し、通販サイトやネットスーパーの商品の受け取りを可能にする次世代宅配ロッカーシステム。暮らしのあらゆるシーンで、お客様の「受け取り」を快適にします。

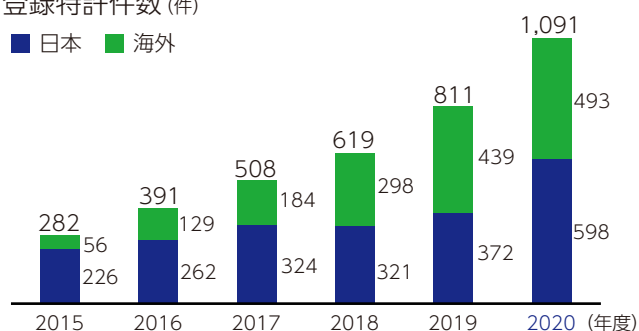
知的財産戦略

グローバルに事業競争力を強化する知財戦略

当社は、事業戦略・技術戦略・知財戦略が三位一体となった知財活動を進めており、海外にも積極的に特許出願を行っています。その結果、2021年3月期の登録特許件数は 1,000 件を超えました。今後は、さらに質の高い特許ポートフォリオの構築や模倣品などに対する知財リスクの低減に取り組み、継続して競争力強化に繋がる知財戦略を展開してまいります。

登録特許件数 (件)

■ 日本 ■ 海外





取締役 執行役員
経営管理部部長
経理部部長

加納 淳一

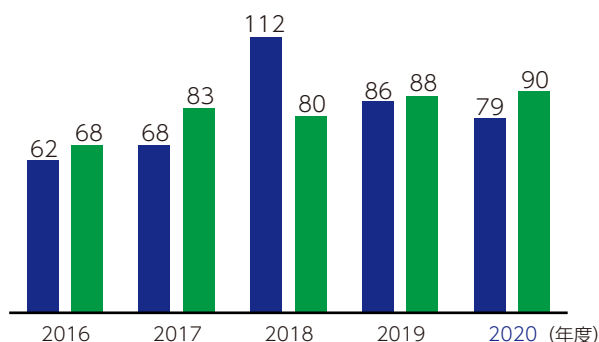
安定した財務体質を堅持しつつ、戦略的成長投資と利益還元の両立に努めます

当社はお客様に感動をご提供し続けるために、主力製品の競争力向上や、新規事業への積極的な投資、さらには、M&A を進めていくことで、企業価値の向上を目指しております。また、同時に、株主の皆様への継続的な利益還元を経営上の最重要施策と位置づけ、資本効率性を追求するとともに、配当性向 30% を目安に安定配当の維持にも努めてまいります。

当社の主力事業は世界的な景気変動の影響を受けやすく、現在の新型コロナウイルス感染拡大による世界経済への影響、あるいは災害などの不測の事態に備えて、十分な手元流動性を確保しつつ、当社の業績、株式市場や経済の動向などを勘案し、自己株式の取得も資本効率向上の有効な施策のひとつと考え、適切かつ機動的な実施を検討してまいります。

設備投資額・研究開発費（億円）

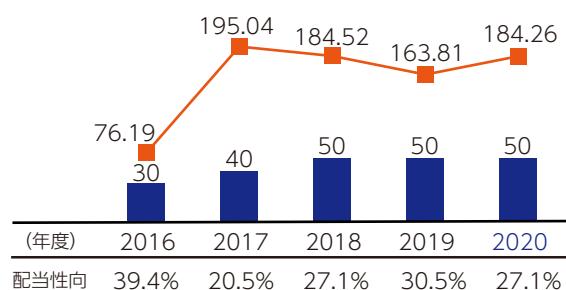
■ 設備投資額 ■ 研究開発費



1株当たり年間配当金・1株当たり当期純利益

■ 1株当たり年間配当金 (円)

■ 1株当たり当期純利益 (円)



DX 戦略

DX を活用した事業戦略を推進してまいります

近年、企業における DX への取り組みが重要度を増しています。以前から当社製品では、計測・通信・制御などにおいて高度なデジタル技術を駆使しており、デジタル化が企業文化として浸透しています。製品だけでなく、業務プロセス全域においてもデジタル化を加速させるため、中期経営計画では DX を最重要テーマのひとつと位置づけております。

具体的な取り組みとして、すでに顧客情報の一元管理や、それらを支える IT 環境のクラウド移行を完了しております。また現在全社システムの刷新にも着手しており、経産省が警鐘を鳴らす『2025 年の崖』にも対処していきます。さらに、世界中で稼働する当社製品に対する AI 予兆保全や、インターネットを通じた遠隔診断サービス、デジタルツインでの装置動作シミュレーション技術などの開発も進めています。

今後も開発・生産・販売の全ての領域に渡って DX を活用した事業戦略を推進していくことで、お客様へ感動をお届けしてまいります。

ESG を意識したもののづくりを推進し、 豊かな社会づくりに貢献し続けます



当グループは 1959 年の創業以来、「我々は需要家の信頼に応え、たゆまぬ研究開発に努め、最高の技術を提供する」の社訓のもと、工作機械や電子部品実装ロボットをはじめとした、世界中の“ものづくり”の現場を支える製品を送り出してきました。

社員一人ひとりが株主様、お客様、お取引先様、地域社会などとの絆を大切にしながら、日々の企業活動に取り組んでいます。昨今世界中で取り組みが加速している「SDGs」の精神は、まさに当社がこれまで創業以来積み重ねてきた「豊かな社会づくりに貢献する新しい価値と市場の創造」と合致するものです。これからも、社会とともに持続可能な発展を目指し、企業の社会的責任を全うしてまいります。

SDGs への取り組み

環境への取り組み

- 環境に配慮した省電力・省スペース製品の開発
- CO₂排出量削減に貢献する省エネルギー工場
- グリーン調達の推進



従業員の働き方改革と健康推進

- 健康経営優良法人の認定
- 社員が能力を発揮できる人事制度・人材育成



平等な社会へ (ジェンダーと多様性)

- 性別・国籍によらない採用選考
- 「あいち女性輝きカンパニー」 認証取得



技術革新を通じた社会発展への貢献

- 電子部品実装ロボット・工作機械の開発を通じた自動化への貢献
- 既存技術の強みを活かし、介護ロボット・プラズマ装置・宅配ロッカーシステムなどの新事業の開拓



ガバナンスへの取り組み

- グループ行動憲章の制定とグループ会社全従業員への展開
- 取引先との健全なパートナーシップの構築



地域との共生・教育

- “えいご”をつかって“かがく”を学ぶイングリッシュアフタースクール「teracoya THANK」の運営
- 地域交流イベントへの積極的な参画



2021 年 7 月にサステナビリティの Web サイトを公開しました。
非財務情報の開示にも注力いたしますのでご覧ください。

<https://www.fuji.co.jp/sustainability/>



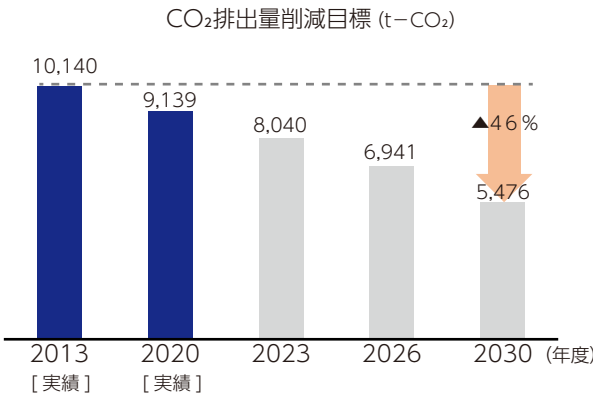
環境への取り組み

環境基本方針

当グループは、地球環境の保全が人類共通の最重要課題のひとつであることを認識し、「持続可能な開発目標（SDGs）」や「パリ協定」など、世界共通の目標に賛同します。豊かで美しい自然環境を次世代に残すため、全社をあげて企業活動における環境リスク低減に取り組み、持続可能な社会の発展と地球環境保全に貢献していきます。

環境中期目標

事業活動における 2030 年度の CO₂排出量を 2013 年度比で 46%削減することを中期目標としました。従業員の省エネ活動はもとより、省エネ設備の導入、CO₂フリー電力の購入、グリーン電力証書などを活用し目標達成を目指します。



環境取り組み方針

環境取り組み方針を 3 年ごとに更新し、それぞれの項目に対して、毎年目標値と実績をチェックし、環境経営の PDCA サイクルを回しています。

	項目	取り組み方針
社会貢献型技術	開発 (製品)	環境配慮製品の開発 →製品ライフサイクル (全工程) での環境負荷低減
	設備	再生可能エネルギー設備 (ソーラーパネルなどの導入) 再生可能エネルギーの活用
低炭素社会	業務	業務効率向上 (開発・生産・販売・事務 すべての業務) 省エネ活動
	調達	納入形態 (荷姿) の梱包最小化およびリターンブル化
循環型社会	業務	リサイクル・省資源活動の推進 IT の積極活用 (テレワーク・リモート会議など) デジタル化 (ペーパーレスの推進)

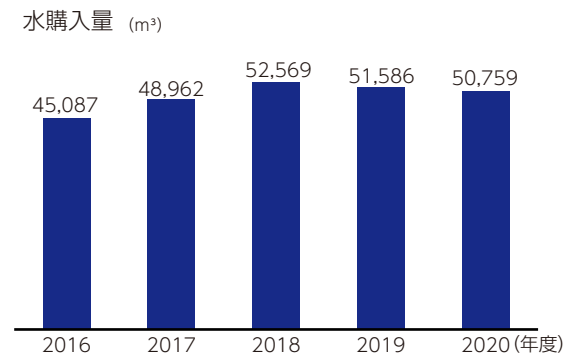
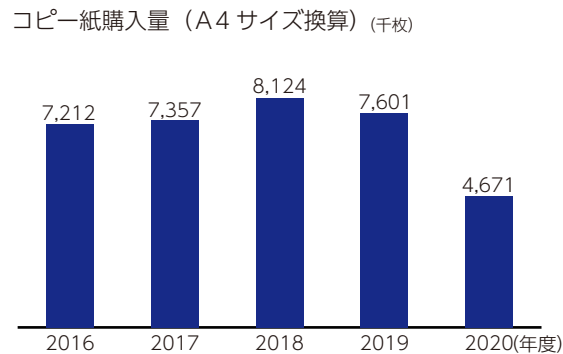
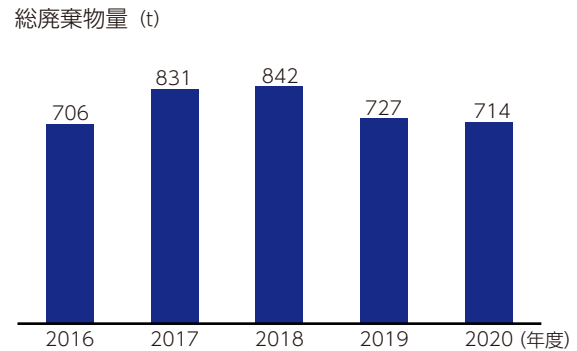
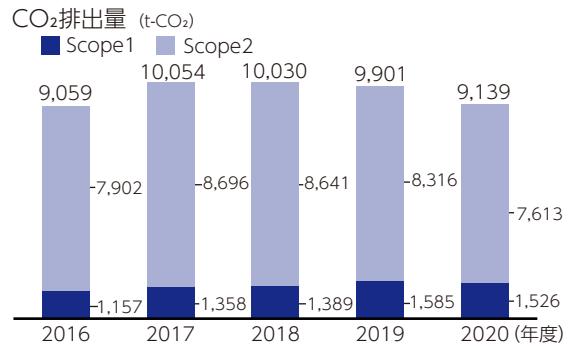
環境負荷全体像 (2020 年度)

本社、豊田事業所、岡崎工場におけるインプットとアウトプットを把握し、環境負荷低減に努めております。



環境管理データ

当社は以下の項目を環境リスク低減に関わる重要な指標と捉え、削減への取り組みを進めております。



水質汚濁への対応 (2020 年度)

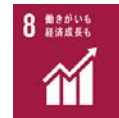
項目	単位	法規制許容限度	当社の規定許容限度	本社実績	豊田事業所実績	岡崎工場実績
水素イオン濃度 (pH)	-	5.8 以上～ 8.6 以下	6.1 以上～ 8.3 以下	6.9	7.0	7.2
生物化学的酸素要求量 (BOD)	mg/L	160 以下	23 以下	1.3	1.1	1.7
化学的酸素要求量 (COD)	mg/L	160 以下	23 以下	6.5	2.7	5.6
浮遊物質 (SS)	mg/L	200 以下	27 以下	2.5	2.1	1.0 未満
n-ヘキサン抽出物質 (鉱油類)	mg/L	5 以下	1.8 以下	1.8	0.5 未満	0.5 未満
全窒素	mg/L	120 以下	40 以下	4.2	5.5	8.1
全燐	mg/L	16 以下	4 以下	1.0	0.9	1.4
大腸菌群数	個 /cm ³	3,000 以下	900 以下	30 未満	30 未満	ND

ND：定量下限値以下 (検出されない)
実績の値は測定実績の平均値を示しています。

化学物質取扱量 (kg)

項目	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度
トルエン	44.20	4.01	1.01	3.81	38.12
アンチモンおよびその化合物	0.00	0.00	1.18	0.00	0.00
キシレン	10.60	6.50	8.30	0.64	4.38
エチルベンゼン	4.70	3.60	5.50	34.35	2.22
酢酸 2- エトキシエチル	0.00	1.70	0.00	0.00	0.00
フタル酸ノルマル - ブチル = ベンジル	0.00	0.91	0.00	0.00	0.10
ヘキサメチレン = ジイソシアネート	0.00	0.37	0.58	0.29	0.10
トリレンジイソシアネート	0.00	0.06	0.00	0.00	0.00
1,2,4- トリメチルベンゼン	0.00	3.12	5.20	2.08	1.23
ジクロロメタン	0.00	0.00	4.20	0.00	4.18
スチレン	0.00	0.00	1.20	0.05	0.00
その他	8.80	0.01	19.80	14.00	0.06

当ページに掲載されている数値は
本社、豊田事業所、岡崎工場を
集計範囲としております。



企業活動を継続していくなかで、社会の一員として、ステークホルダーの皆様と調和の取れた発展を目指していきます。

お客様とのかかわり

品質基本方針「品質第一に徹し、顧客の信頼と満足に応え得る最高の技術とサービスを常に提供する。」のもと、世界 60 か国以上に製品を出荷しております。米州・欧州・アジアにある当社グループ会社および各地域代理店とミーティングを重ね、お客様のニーズに即した営業活動を進めております。また、国内外に 100 拠点以上のグローバルサポート体制を展開しており、お客様の要望を社内の関連部署へフィードバックし、次世代商品開発などへ展開しております。

従業員とのかかわり

●人材育成

技術者育成、階層別教育、グローバル教育、自己啓発支援など、幅広い人材育成プログラムを用意しております。入社 1 年目の技術系社員が配属前に入塾する「創開塾」では、専攻外の知識の習得と実践的なロボットの開発を行うことで、仕事を遂行する前のひとつの経験として生みの苦しみや開発の達成感を感じてもらいます。また、組織内での統率力や円滑なコミュニケーションの方法などを学ぶリーダー研修、海外で活躍できる人材を育てるグローバル教育なども実施し、社内教育の充実を図っています。

●ジェンダーとダイバーシティ

毎週金曜日の会社全体ノー残業デーの設定、在宅勤務やフレックスタイムの導入などの働き方改革に取り組んでいます。また、育児・介護休業、育児・介護短時間勤務制度、看護・介護休暇制度など、多様な働き方や、仕事と育児・介護の両立を支援する制度の充実を図るとともに、ワークライフバランスにも取り組み、誰もが働きやすい環境の整備を進めております。



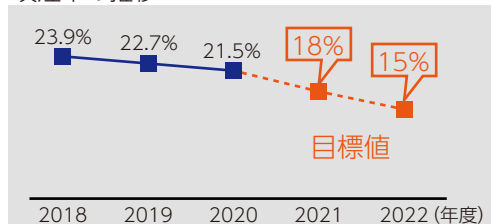
●安全衛生

安全衛生基本方針「社員一人ひとりが【安全と健康は経営の基盤】であると認識し、全員参加の安全衛生活動を積極的に推進する」のもと、安全衛生委員会を中心に安全で快適な職場づくりに取り組んでおります。2020 年度の労働災害は休業災害 3 件、不休業災害 9 件で、死亡・後遺障害が残る重大な労働災害の発生はありませんでした。

●健康増進

さまざまな健康経営課題に取り組み、昨年に続き「健康経営優良法人 2021（大規模法人部門）」に認定されました。喫煙対策にも力を入れており、2020 年度からは禁煙デーを導入しました。2022 年度には社内全面禁煙とする予定です。

喫煙率の推移



株主・投資家とのかかわり

株主・投資家の皆様と長期的に安定した関係を築くため、適切な利益配分と適正・公平かつタイムリーな情報開示に取り組んでおります。また、代表取締役・担当役員などが公平性・正確性・継続性を重視しつつ、経営戦略・事業部戦略・財務情報などについて、双方向の良好なコミュニケーションを図る IR 活動を展開し、建設的な対話が可能になるよう努めております。

株主・投資家との対話実績（2020 年度）

項目	回数	参加者
半期毎に決算説明動画をホームページに掲載	2 回	5,485 回再生※
アナリスト・機関投資家との個別面談を随時実施	171 回	270 名
海外機関投資家向けカンファレンスに参加し、面談を実施	5 回	47 名

※2021 年 5 月 13 日現在

サプライヤーとのかかわり

「CSR 調達基本方針」および「F U J I サプライヤー C S R ガイドライン」を定め、常に新しい価値の創造に挑戦し続け、豊かな社会づくりに貢献していくための方針やビジョンをサプライヤーと共有しています。公明・公正・公平で、地球環境の影響にも配慮した調達活動を行い、持続可能な社会の実現に向けてサプライチェーン全体で取り組んでいます。

地域社会とのかかわり

地域社会の一員として、「地域の皆様に愛され、親しまれる F U J I」を目指してさまざまな活動を展開しています。地域児童向けに「えいご」をつかって「かがく」を学ぶイングリッシュアフタースクール「Iteracoya THANK」を運営し、世界で活躍できる人材を育てています。また、地域のお祭りや文化活動への支援なども行っております。





ガバナンスへの取り組み

基本的な考え方

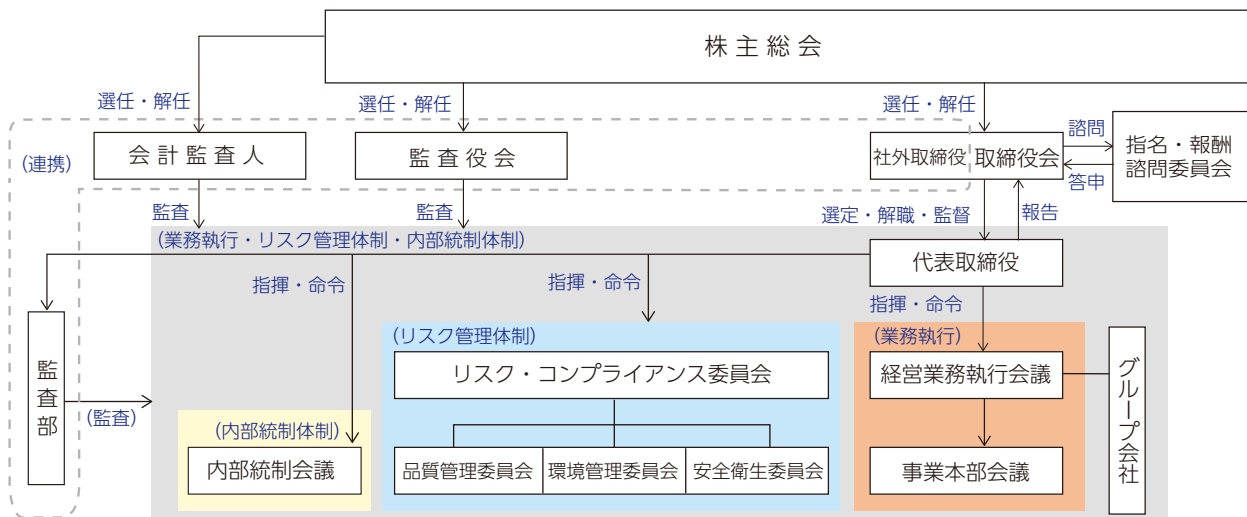
当グループは、ステークホルダーの皆様にとってより高い企業価値の創造に努めることを重要課題と認識し、経営環境の変化に迅速かつ的確に対応できる組織体制と、公正かつ透明性のある経営システムの構築・充実ならびにリスク・コンプライアンス体制の強化に努めています。

コーポレート・ガバナンス体制

取締役の人数	8名 (うち社外取締役の人数 3名)
監査役の人数	3名 (うち社外監査役の人数 2名)
独立役員的人数	5名
取締役会の年間開催数	13回 (予定)
取締役の任期	1年
執行役員制度の採用	有
執行役員的人数	11名

2021 年 6 月 29 日現在

コーポレート・ガバナンス体制図



スキルマトリックス

氏名	当社における 地位	指名・報酬 諮問委員会	企業経営	製造・技術・ 研究開発	営業・ マーケ ティング	財務・会計	IT・DX	法務・ ガバナンス	グローバル 経験
曽我 信之	代表取締役会長	◎	○	○				○	
須原 信介	代表取締役社長	○	○	○			○	○	
江崎 一	取締役		○		○				○
杉浦 昌明	取締役		○		○				○
加納 淳一	取締役				○	○		○	○
川合 伸子	取締役 独立 社外	○						○	
玉田 秀彰	取締役 独立 社外	○	○	○	○				○
水野 象司	取締役 独立 社外	○	○		○			○	○

※指名・報酬諮問委員会の◎は委員長

役員報酬

当社取締役の報酬の決定に際しては、役位、職責、在任年数、当社の業績、さらには従業員給与の水準をも考慮しながら、総合的に勘案することを基本方針としております。加えて、2021年6月29日開催の第75期定時株主総会において、「譲渡制限付株式報酬」枠を決議いたしました。取締役の報酬の一部を自社株にて支給することで、一般株主の方と同じ目線に立ちながら、持続的な企業価値向上を図る経営を推進してまいります。

また 2021 年 4 月には、過半数を独立社外取締役にて構成される指名・報酬諮問委員会を設置いたしました。取締役、監査役の指名・報酬に関する手続きの公正性・透明性・客観性を強化し、コーポレートガバナンスのさらなる充実を図ってまいります。

ESG データ

環境関連		単位	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度
CO ₂ 排出量		t-CO ₂	9,059	10,054	10,030	9,901	9,139
	Scope1	t-CO ₂	1,157	1,358	1,389	1,585	1,526
	Scope2	t-CO ₂	7,902	8,696	8,641	8,316	7,613
総廃棄物量		t	706	831	842	727	714
コピー紙購入量 (A4 サイズ換算)		千枚	7,212	7,357	8,124	7,601	4,671
水購入量		m ³	45,087	48,962	52,569	51,586	50,759
化学物質 取扱量	トルエン	Kg	44.20	4.01	1.01	3.81	38.12
	アンチモンおよびその化合物	Kg	0.00	0.00	1.18	0.00	0.00
	キシレン	Kg	10.60	6.50	8.30	0.64	4.38
	エチルベンゼン	Kg	4.70	3.60	5.50	34.35	2.22
	酢酸 2-エトキシエチル	Kg	0.00	1.70	0.00	0.00	0.00
	フタル酸ノルマル - プチル = ベンジル	Kg	0.00	0.91	0.00	0.00	0.10
	ヘキサメチレン = ジイソシアネート	Kg	0.00	0.37	0.58	0.29	0.10
	トリレンジイソシアネート	Kg	0.00	0.06	0.00	0.00	0.00
	1,2,4- トリメチルベンゼン	Kg	0.00	3.12	5.20	2.08	1.23
	ジクロロメタン	Kg	0.00	0.00	4.20	0.00	4.18
	スチレン	Kg	0.00	0.00	1.20	0.05	0.00
	その他	Kg	8.80	0.01	19.80	14.00	0.06

対象範囲：本社、豊田事業所、岡崎工場

社会関連		単位	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度
従業員数		人	1,607	1,652	1,671	1,689	1,712
	男性	人	1,391	1,432	1,446	1,458	1,476
	女性	人	216	220	225	231	236
管理職（課長級以上）に占める女性比率		%	2.2	2.3	2.2	2.0	2.3
障がい者雇用率		%	2.0	1.9	2.3	2.4	2.4
平均勤続年数		年	16.4	16.8	17.1	17.6	17.9
	男性	年	17.0	17.3	17.6	18.1	18.4
	女性	年	12.7	13.4	13.9	14.3	14.8
有休取得率		%	80.2	83.3	87.9	86.1	77.7
育児休業取得者数		人	13	17	11	22	22
	男性	人	1	4	3	4	10
	女性	人	12	13	8	18	12
介護休業の利用実績		人	1	1	1	1	1
採用数（新卒・中途）		人	57	55	58	51	49
	男性	人	47	48	48	40	40
	女性	人	10	7	10	11	9
離職率		%	1.1	0.9	1.3	1.2	1.1
月間平均残業時間		時間	21.7	25.7	25.2	21.8	11.1
外国人雇用率		%	1.8	1.9	1.8	1.7	1.7
定年後再雇用率		%	88.2	85.7	84.2	92.9	95.7
労働災害度数率※		%	0.27	0.25	0.49	0.49	0.77

対象範囲：単体

※労働災害度数率＝休業を伴う労働災害による死傷者数 ÷ 延べ実労働時間数 × 1,000,000

ガバナンス関連		単位	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度
取締役数		人	8	8	9	8	8
社外取締役数（独立役員数）		人	2	2	2	2	3
女性取締役数		人	1	1	1	1	1
取締役の女性比率		%	12.5	12.5	11.1	12.5	12.5
監査役数		人	3	3	3	3	3
社外監査役数（独立役員数）		人	2	2	2	2	2
女性監査役数		人	1	1	1	1	1
監査役の女性比率		%	33.3	33.3	33.3	33.3	33.3
重大な法令違反件数		件	0	0	0	0	0
政治献金		円	0	0	0	0	0

対象範囲：単体

会社情報

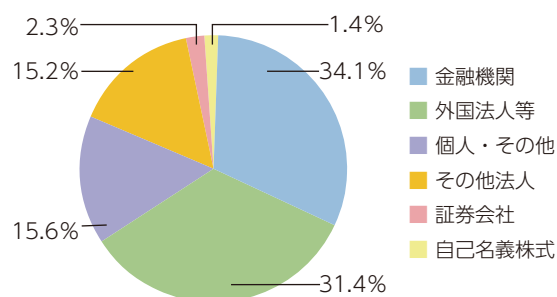
会社概要

商号	株式会社 FUJI FUJI CORPORATION	上場市場	東京証券取引所市場第一部 名古屋証券取引所市場第一部
本社所在地	愛知県知立市山町茶碓山 1 9 番地	主要な事業内容	電子部品実装ロボットおよび工作機械の製造、販売
設立	1959 年 4 月	従業員数	連結 2,522 名 単体 1,712 名 (2021 年 3 月 31 日現在)
資本金	5,879 百万円		

株主の状況 (2021 年 3 月 31 日現在)

発行可能株式総数	390,000,000 株
発行済株式の総数	97,823,748 株
株主数	6,983 名

所有者別分布状況



大株主 (上位 10 名)

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	6,289	6.52
大同生命保険株式会社	4,811	4.98
株式会社三菱UFJ銀行	4,272	4.43
株式会社日本カストディ銀行 (信託口)	4,130	4.28
F U J I 取引先持株会	3,089	3.20
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE IEDU UCITS CLIENTS NON LENDING 15 PCT TREATY ACCOUNT	2,364	2.45
株式会社名古屋銀行	1,554	1.61
三菱UFJ信託銀行株式会社	1,483	1.53
BBH BOSTON CUSTODIAN FOR NEXT GENERATION CONNECTIVITY ASIA FUND A SERIES T 621052	1,395	1.44
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505001	1,219	1.26

(注) 1. 当社所有の自己株式 (1,390,652 株) については、上記上位 10 名の株主から除外しております。
2. 持株数は千株未満を切り捨て、持株比率は自己株式を控除して計算し小数点第 3 位以下を切り捨てて表示しております。

連結子会社

会社名	所在地	設立
株式会社アドテック富士	愛知県	1977 年 4 月
株式会社エデックリンセイシステム	愛知県	1992 年 11 月
ファスフォードテクノロジー株式会社	山梨県	2015 年 3 月
FUJI リニア株式会社	愛知県	2020 年 2 月
フジ アメリカ コーポレーション	アメリカ	1970 年 4 月
フジ マシン アメリカ コーポレーション	アメリカ	1994 年 11 月
フジ ヨーロッパ コーポレーション ゲーエムペーハー	ドイツ	1991 年 11 月
富社 (上海) 商貿有限公司	中国	2007 年 11 月
昆山之富士機械製造有限公司	中国	2012 年 1 月
フジド ブラジル マキナス インダストリアルズ リミターダ	ブラジル	1995 年 11 月
フジ インディア コーポレーション プライベート リミテッド	インド	2019 年 12 月
フジ マシン アジア プライベート リミテッド	シンガポール	2001 年 1 月



マスコットキャラクターのご紹介

皆様からより愛される会社を
目指したマスコットキャラクター
「FUJILALA (フジララ)」です。
よろしくお願いいたします。



編集方針

本報告書は、当グループの経営戦略および財務情報について、ステークホルダー（株主様・お客様・お取引先様・従業員・地域社会など当社と多様な利害関係のある方々）の皆様に分かりやすくご報告することを目的とします。

対象期間

2021 年 3 月期
(2020 年 4 月 1 日～2021 年 3 月 31 日)